



# 協会ニュース

第33号

平成24年 3月 1日発行

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町15-17 (日本基礎技術株式会社内) TEL. (03) 3476-5721  
homepage: <http://rocktech.jp/> E-mail: [rocktech@muse.ocn.ne.jp](mailto:rocktech@muse.ocn.ne.jp)

## 災害対応について思うこと



岩盤削孔技術協会会長  
見波 潔

昨年は、新燃岳の噴火や大雪(1月)、東日本大震災(3月)、新潟・福島豪雨(8月)、台風12号・15号による被害(9月)など、大きな災害が続きました。

とりわけ東日本大震災への対応には皆様もそれぞれの立場でご尽力、ご努力されたことと思います。通信網・交通網の寸断や燃料不足などに代表される様々な困難の中で、建設業の関係者は最大限の努力をし、道路啓開をはじめとする緊急復旧に貢献できたのではないのでしょうか。

建設業が貢献できた背景にはいくつかの要因があると思います。その第一は、普段から地域に密着した仕事をしていることです。第二は、国土交通省や規模の大きい会社はそれぞれの全国組織の全国ネットワークをフルに活用したこと、中小の企業においても業団体や個々のネットワークを活用したことが挙げられます。第三は、建設業界や技術者が持つ柔軟性をもって様々な困難に対応したことだと考えます。

災害大国ともいえる我が国においては、建設業界における災害対応ネットワークを全国規模でしかも各層で多重的に準備しておくことが重要です。さらに、各家庭において防災グッズを準備するのと同様に、平時の中に有事への備えを組み込んでおくことではないのでしょうか。

大口径岩盤削孔工法は各種建設プロジェクトを支える工法の一つとして、永年に渡って蓄積されてきました経験、ノウハウ、技術力を活かして社会に貢献して参りました。これから本格化する復興工事等でも活躍の場があるものと確信しております。本技術に出番が与えられた時には高い技術力と信頼性によって、発注者ひいては国民の皆様の期待に応えたいものです。

さて、当協会は、大口径岩盤削孔工法の普及および技術の向上を図ることを目的として、高い技術力を有する施工専門業者ならびに機械製作会社を会員として平成元年に設立されました。会員各社のご努力と協会の活動が相まって、本工法が今日までに健全に発展してきたものと自負しております。

協会では、発注者、設計者、施工者からの様々な技術的問い合わせや要請に対応すべく、会員各位のご協力を得て日々工法の普及に努めており、平成24年度は「大口径岩盤掘削工法・施工機械技術資料」、「リーダ式ケーシング回転掘削工法積算資料」、「会員施工会社施工実績調査表(平成23年4月～平成24年3月)」の発行を計画しております。

これらに加えて、(社)日本建設機械化協会主催の「橋梁架設・大口径岩盤削孔の施工技術と積算及び建設機械等損料」講習会に講師を派遣し、大口径岩盤削孔の施工技術と積算について広く普及に努めてまいります。また、技術相談の受付や協会ニュースの発行など外部への情報発信や会員相互の情報交換をインターネットを活用してより効果的に行って参ります。

技術を大切にする会員の皆様とともに大口径岩盤削孔技術を育て、発展させて参りたいと考えておりますので、一層のご支援をお願い申し上げます。